

稲作情報 (Vol.2)

令和5年6月6日
宮城県石巻農業改良普及センター
石巻地方米づくり推進本部
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

4～5月の気象経過

- ◎ 4月の平均気温は平年より2.3℃高くなりました。5月は上旬の気温が低く、中旬は高温となりました。下旬は平年差+1.1℃となりました。
- ◎ 日照時間は、4月は平年比114%と多くなりました。5月は第1半旬は多照でしたが、第2半旬は少照となり、中旬はほぼ平年並みで、下旬は少照となりました。
- ◎ 降水量は4月上・中旬は少なく、下旬は26日にまとまった降雨があり平年比127%となりました。5月上旬は6日から8日にまとまった降雨があり平年比226%と多くなりました。中旬以降の降水量は平年を下回りました。

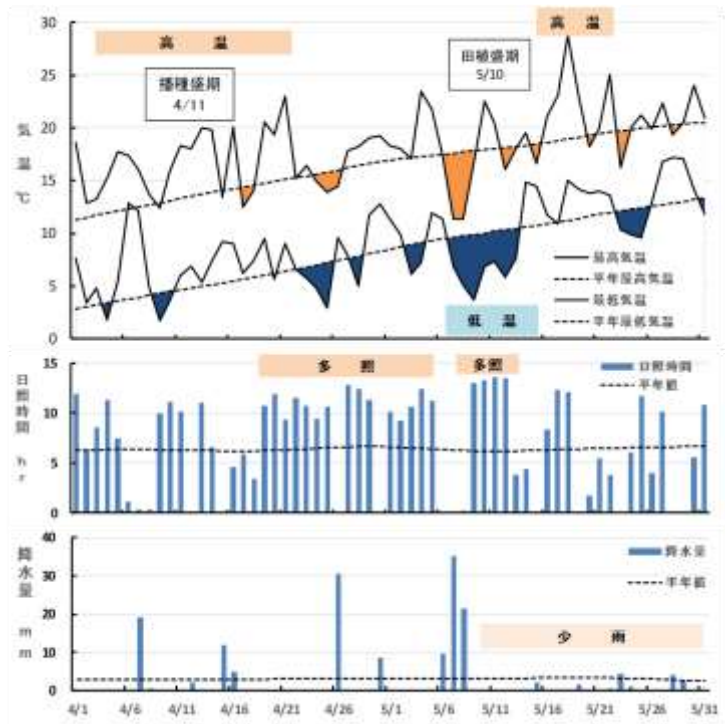


図1 4月以降の気象経過(アメダス石巻)

播種・田植・苗質の概況

- ◎ 管内の播種は平年より3日遅い4月4日が始期、1日遅い4月11日が盛期、2日早い4月20日が終期となりました(表1)。育苗期間中は気温が高く推移し、苗の生育は順調でした。草丈は長めの傾向で、葉数は少なめとなりました(表3)。
- ◎ 苗の生育が進んだことや5月第1半旬は好天に恵まれたことにより、田植始期は平年より1日早い5月3日となりました。5月7日は降雨に加え、瞬間最大風速が20.8m/sの強風となり、5月9日以降は好天となりましたが、田植盛期は平年より1日遅い5月10日となりました。また、県全体の田植盛期は、平年より1日遅い5月12日でした(表2)。

表1 播種状況調査結果

	始期 (5%)	盛期 (50%)	終期 (95%)
石巻管内	4月4日	4月11日	4月20日
前年差	2日遅い	2日遅い	3日早い
平年差	3日遅い	1日遅い	2日早い
宮城県	4月2日	4月11日	4月21日
前年差	同じ	同じ	1日早い
平年差	同じ	同じ	同じ

※平年値は前10か年の平均値(10中8)。

表2 田植え状況調査結果

	始期 (5%)	盛期 (50%)	終期 (95%)
石巻管内	5月3日	5月10日	5月21日
前年差	同じ	3日遅い	1日早い
平年差	1日早い	1日遅い	同じ
宮城県	5月4日	5月12日	5月23日
前年差	1日遅い	2日遅い	1日遅い
平年差	同じ	1日遅い	1日遅い

※平年値は前10か年の平均値(10中8)。

- ◎ 4月中旬までは気温が高く推移したことから、4月上旬に播種したものは草丈が平年並み～やや長めで、中旬に播種したものは平年より短めでした。葉数は平年よりも少なめでした。

表3 苗質調査の結果

区分・品種	調査ほ場	播種日	移植日	育苗 日数	草丈 (cm)		葉数 (枚)		
					R5年	平年比	R5年	平年差	
生育調査ほ	ひとめぼれ	石巻市広淵	4/1	5/4	33	12.4	105%	3	-0.1
		東松島市小松	4/3	5/4	31	14.7	100%	2.8	-0.1
	ササニシキ	石巻市桃生	4/17	5/17	30	10.7	82%	2.4	-0.2
		石巻市稲井	4/15	5/10	25	14.6	93%	2.5	0.3
だて正夢展示ほ	東松島市小松	4/7	5/3	26	20.1	126%	2.1	-0.4	
金のいぶき展示ほ	石巻市蛇田	4/9	5/13	34	13.1	101%	2.8	-0.4	

注) 平年値は前5か年平均。播種・移植日の前年差及び平年差の「+」は遅い、「-」は早いを表す。

水稻生育調査ほ・展示ほの生育状況（6月1日現在）

草丈は21.3cm～29.2cmで平年と比較して短め～平年並みのほ場が多く、茎数は92本/㎡～196本/㎡でだて正夢展示ほを除き平年よりも少なくなっています。だて正夢は茎数が平年比154%と平年を上回っていますが、植付本数が平年比131%と多かったためと推察されます。葉数は平年よりも少なめとなっており、生育の進捗としては2～3日程度遅れていると推察されます。5月上旬の低温と5月下旬の日照不足が影響していると推察されます。

乾田直播栽培は4月中旬までは気温が高く推移したこともあり、4月2日播種のササニシキは出芽揃日が平年よりも8日早くなり、苗立数も153本/㎡と平年を上回っています。4月14日播種の萌えみのりは出芽のムラがあり、苗立数が概ね100本/㎡とやや少なめとなっています。

表4 生育調査ほの調査結果(6月1日現在)

区分・品種	調査ほ場	栽植密度(株/㎡)		植付本数(本/㎡)		草丈(cm)		茎数(本/㎡)		葉数(枚)							
		前年比(%)	平年比(%)	前年比(%)	平年比(%)	前年比(%)	平年比(%)	前年比(%)	平年比(%)	前年差(枚)	平年差(枚)						
生育調査ほ	ひとめぼれ	石巻市広瀬	17.3	97%	99%	80	75%	82%	22.9	99%	93%	92	55%	70%	5.3	-0.6	-0.7
		東松島市小松	18.9	99%	101%	99	88%	100%	24.5	108%	107%	146	114%	99%	6.2	+0.6	+0.4
		ひとめぼれ平均	18.1	98%	100%	90	81%	91%	23.7	104%	100%	119	84%	84%	5.8	0.0	-0.1
	ササニシキ	石巻市桃生	16.4	98%	95%	102	111%	114%	23.3	99%	99%	107	73%	89%	4.7	-0.7	-0.5
		石巻市稲井	15.6	97%	96%	91	128%	113%	21.3	100%	97%	100	98%	99%	4.9	-0.4	-0.2
		ササニシキ平均	16.0	98%	96%	96	119%	113%	22.3	100%	98%	103	86%	94%	4.8	-0.6	-0.3
だて正夢展示ほ	東松島市小松	18.7	102%	103%	126	115%	131%	28.2	106%	96%	196	176%	154%	5.4	-0.5	-0.3	
金のいぶき展示ほ	石巻市蛇田	16.3	102%	94%	77	106%	109%	29.2	126%	106%	126	75%	98%	5.6	-0.3	-0.4	

表5 乾田直播栽培の調査結果(6月1日現在)

区分・品種	調査ほ場	播種日(月/日)		出芽揃日(月/日)		苗立数(本/㎡)		草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉数(枚)			
		前年差(日)	平年差(日)	前年差(枚)	平年差(枚)	前年比(%)	平年比(%)						
直播栽培展示ほ 乾田直播 ササニシキ	石巻市須江	4/2	-1	-6	5/10	-6	-8	153	106%	107%	16.3	187	3.8
業務用多収品種展示ほ 乾田直播 萌えみのり	石巻市桃生	4/14	-	-	5/15	-	-	102	-	-	15.3	98	3.0



写真1 だて正夢 (6月1日)



写真2 金のいぶき (6月1日)

今後の管理

1 水管理

- ◎ 活着後は、地温が最も高くなる3cm程度の浅水で管理し、分けつの発生を促しましょう。なお、極端な低温が続くと予想される場合には、水深をできるだけ深めにし、イネを低温から保護しましょう。
- ◎ 生わらや牛ふん堆肥等の未熟な有機物を多用している水田では、気温の上昇とともに有機物の分解が盛んになり、イネに有害な硫化水素等のガスが発生しやすくなります。このような場合には、中耕や一時的に落水するなど土壌中に酸素を供給し、根の障害を防ぎましょう。
- ◎ 除草剤を使用する場合は、使用上の注意事項をよく読み、除草剤ごとに定められた使用時期、使用量及び適切な水管理に努めましょう。

2 いもち病対策 ～ 補植用残苗は直ちに処分を！～

- ◎ 県内で発生する本田いもち病の発生源のほとんどは「補植用残苗」です。補植用残苗は速やかに処分しましょう。
- ◎ 個人防除で葉いもち予防剤などを本田施用する場合は、田植時期の早い遅いにかかわらず6月15～20日頃に施用し、処理後7日間は落水しないようにしましょう。

（※JAいしのまき環境保全米及びS基準では箱処理剤が指定されていますので注意）

- ◎ 飼料用米や直播栽培など箱処理剤を使用していないほ場では、周辺ほ場の伝染源にならないよう、いもち病予防剤による防除を行いましょう。



写真3 ほ場の補植用残苗



写真4 補植用残苗の葉いもち

3 害虫対策

- ◎ 今年のイネミズゾウムシとイネドロオイムシの発生量は平年並みとなっています。発生時期はどちら平年より5日程度早いと予想されています（5月29日 県病虫害防除所発表）。
- ◎ イネミズゾウムシ、イネドロオイムシの防除対策は次のとおりです。
＜箱施用剤を使用した場合＞ 本田での防除は必要なし
＜箱施用剤を使用しなかった場合＞ 次の「要防除密度」により防除の実施を判断する
（※ JAいしのまき環境保全米及びS基準等では、使用できる農薬に制限があるので、防除を行う場合は、JAに相談願います。）

【要防除密度】

イネミズゾウムシ： 侵入盛期(予想5/21～25):けい畔際2m程度の成虫密度:100株当たり 140頭(晩期栽培は70頭)

イネドロオイムシ： 侵入盛期(予想5/26～31):成虫密度:100株当たり25頭,
又は産卵最盛期(予想6/1～5):卵塊密度:100株あたり80個

4 乾田直播栽培

ほとんどのほ場では5月中旬までに出芽揃いとなり、入水が始まっています。入水後の初中期一発剤を散布する際には、残草している草種や幼齡を確認し、適切な除草剤を選定してください。

水管理は移植栽培と同様に浅水管理としましょう。特に苗立数が不足気味のほ場では浅水管理を徹底し、地温を上昇させ分けつの発生を促しましょう。

漏水している場合には除草剤の効果が十分得られず、適切な浅水管理も困難となることから分けつの発生にも影響が出ますので、確認の上、穴を塞ぐなど漏水対策を徹底しましょう。

東北地方1か月予報

(6月3日から7月2日までの天候見通し)

令和5年6月1日仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

東北太平洋側では、期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。

<予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北太平洋側	20	30	50
【降水量】	東北地方	40	30	30
【日照時間】	東北地方	30	30	40

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北太平洋側	20	30	50
2週目	東北太平洋側	10	30	60
3~4週目	東北太平洋側	30	30	40

高温に関する早期天候情報(東北地方)

令和5年6月1日14時30分

仙台管区气象台 発表

東北太平洋側 6月9日頃から かなりの高温

かなりの高温の基準：5日間平均気温平年差 +2.2℃以上

東北太平洋側の向こう2週間の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高い日が多く、9日頃からはかなり高くなる可能性があります。

農作物や家畜の管理等に注意してください。また、熱中症対策など健康管理に注意してください。

なお、1週間以内に高温が予測される場合には高温に関する気象情報を、翌日または当日に熱中症の危険性が極めて高い気象状況になることが予測される場合には熱中症警戒アラートを発表しますので、こちらにも留意してください。

春の農作業安全確認運動実施中!

令和5年3月1日から令和5年6月30日まで

重点推進テーマ 徹底しよう! 農業機械の転落・転倒対策

宮城県農薬危害防止運動実施中!(6月1日から8月31日)

宮城県では、6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底し、農薬の販売、使用方法、性質に関する正しい知識及び関係法令等の周知を図ることで、農薬による事故等の発生を防止し、本県産農産物の「食の安全・安心」を確保することを目的に運動を実施しています。